

まえがき

東北地方整備局道路部では、平成 15 年 5 月 26 日および 7 月 26 日に発生した三陸南地震および宮城県北部地震を契機に、発生が想定される宮城県沖地震において道路管理者が適切な対応を取ることができるよう「道路管理における震後対応能力向上の基本方針に関する検討委員会」を設置し、様々な方策について検討を行ってきた。この「災害対応教訓集」は、当委員会成果の一つである。

本教訓集は、宮城県沖地震（昭和 53 年）、兵庫県南部地震（平成 7 年）、三陸南地震（同 15 年）、十勝沖地震（同 15 年）を経験した職員へのヒアリング調査をした結果等をもとに、震後対応の課題等をまとめたものである。これらの課題を多くの職員が共有し、同じ失敗を新たな地震で繰り返さないようにすることが、本教訓集のねらいである。

本教訓集を通じて、課題の具体的なイメージをふくらませ、もしこのような事態に直面したらどう対処すべきかを考えていく出発点として活用してもらいたい。

本文の読み方

